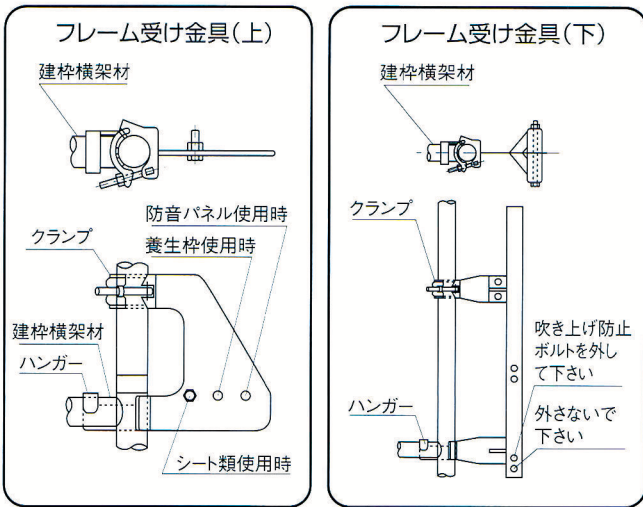


■組立手順

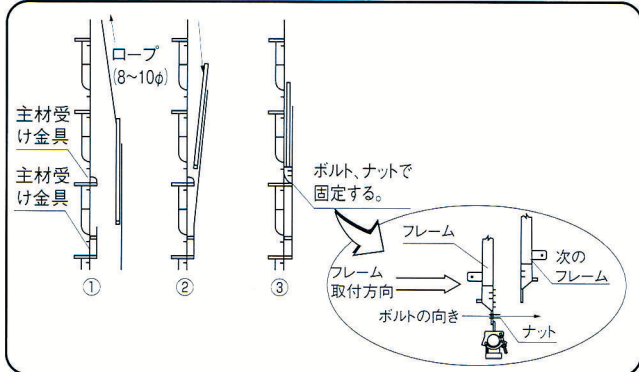
① フレーム受け金具、斜材受け金具の取付

フレーム受け金具、斜材受け金具をそれぞれ建枠の横架材にハンガーを掛け、クランプにて固定して下さい。



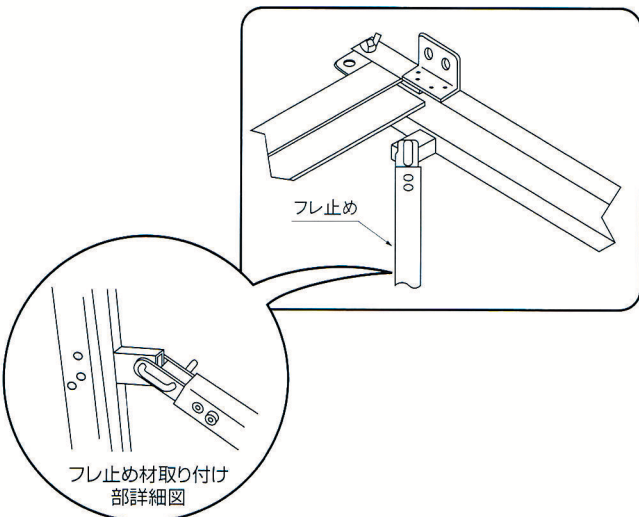
③ フレーム(右)(左)の取付

- ① フレーム(右)(左)と斜材をあらかじめセットしておいたものをロープ上で足場から引き上げて下さい。
- ② 斜材の先端を斜材受け金具のチャンネルの中に差し込みます。
- ③ フレームと主材受け金具をボルト(W1/2*38)、ナットにて固定します。この場合、ボルト、ナットはアサガオの取付方向にナットが来るようにして下さい。ボルトの頭が来ると、次の主材を取付時にボルトを外す事となり不便です。ロープを建枠の適当な箇所に結んでフレームを固定させて下さい。



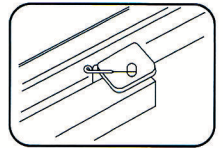
⑤ フレ止め材の取付

フレ止め材を1スパンに2本ずつセットします。どちらの方向にも取付てできますが、全体の流れを考慮し取付て下さい。

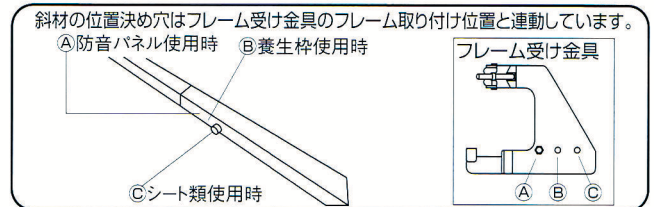


② フレーム(右)(左)と斜材の取付と斜材の調整

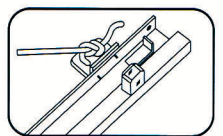
- ① 斜材の六角ボルトをはずして、斜材の内管をスライドさせて伸ばして下さい。内管をスライドさせて所定の位置(シート類・養生枠・防音パネルのいずれを使用するのか確認)にて、六角ボルトを入れて再度固定して下さい。



- ② 斜材のスナップピンをはずし、固定ピンを抜いて、フレームL(R)と取り付けます。この場合、固定ピンの方向は関係ありません。



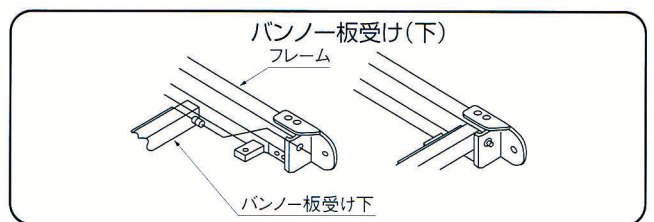
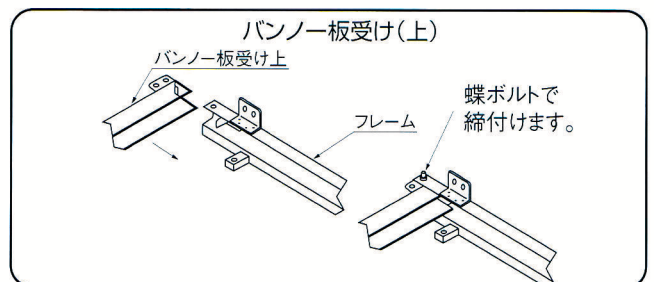
- ③ フレームの先端にロープを取り付けて下さい。(結び目は図のように内側にして下さい。)



※上記の作業は、原則として地上もしくは建物物内で行って下さい。

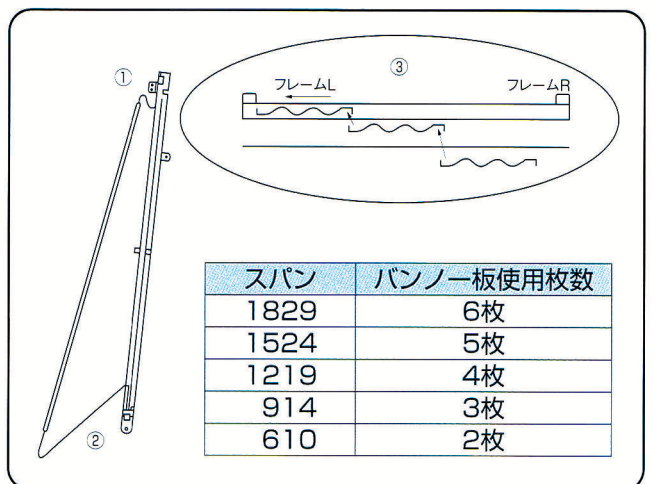
④ バンナー板の取付

取付けられたフレームにバンナー板受け上(上部)、バンナー板受け下(下部)を順次、足場内より取付ていきます。



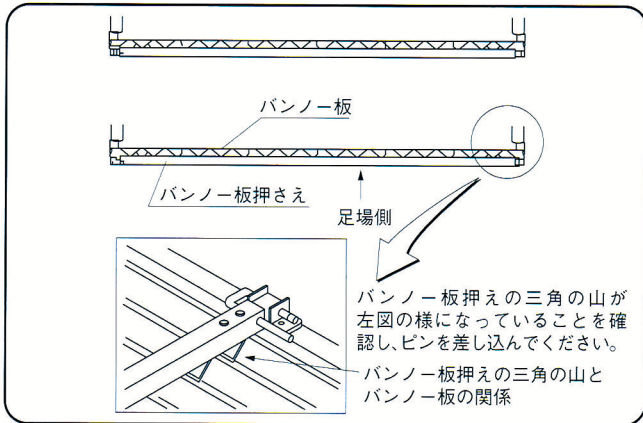
⑥ バンナー板の取付

まずバンナー板の上端をバンナー板受け上に差し込み(下図①)、バンナー板の下端をバンナー板受け下へはめ込みます。(下図②)以下、下図③の様順次バンナー板を重ねてはめ込みます。



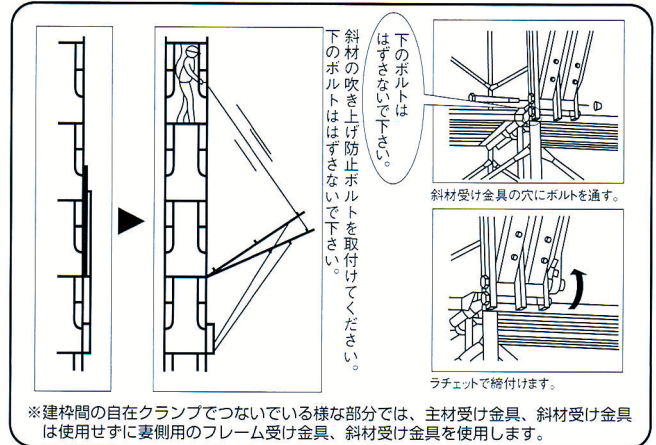
⑦ パンノー板押さえをセットします。

この時、パンノー板押さえ両端の三角の山が下図のようになっていないことを確認してピンを差し込みます。ピンのある方が右側です。(図のように、片方はパンノー板の山を、もう一方は谷を押さえることを確認して下さい。山が合っていない時は隙間ができる原因ですので両端の隙間をなくして下さい。)



⑧ ロープを左右均等に緩めながら、フレーム(右)

(左)を前方に倒しアサガオを下げます。(吹き上げ防止ボルトを外しているかを確認して下さい。)下げ終わると、必ず斜材の吹き上げ防止のボルト取り付けして下さい。以下、順次上記の作業を繰り返します。



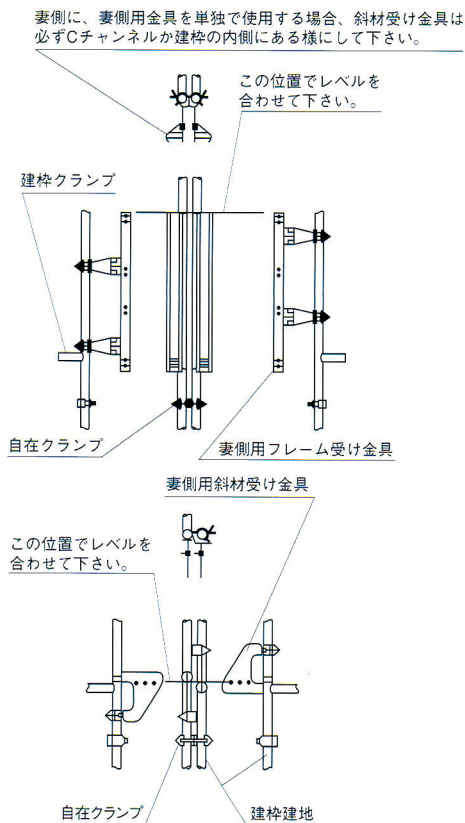
※建柱間の自在クランプでつないでいる様な部分では、主材受け金具、斜材受け金具は使用せず妻側用のフレーム受け金具、斜材受け金具を使用します。

妻側用フレーム受け金具 (ALA7TA)
妻側用斜材受け金具 (ALA8TA)
使用方法について

() 内は形式を表す

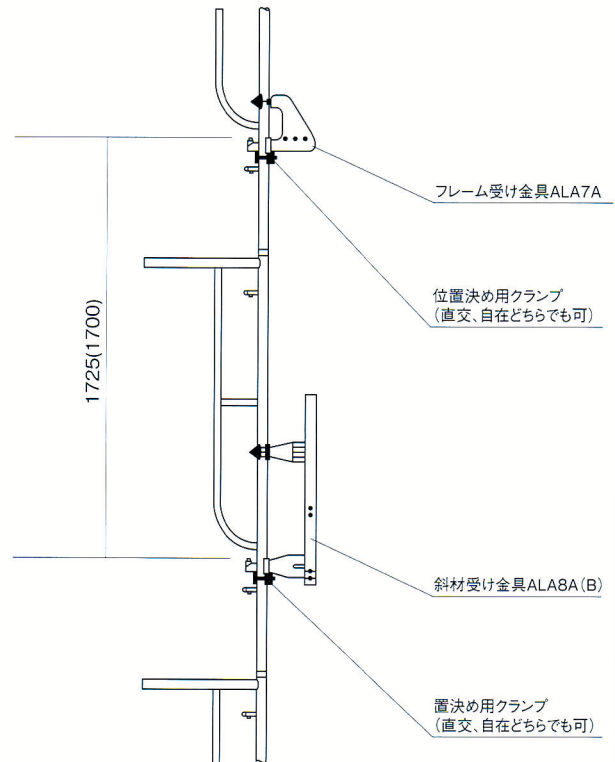
アサガオ設置のコーナー部に妻側に特寸 (614, 914) 等のアサガオを設置する時、一方の建地にコーナーフレーム (斜材) 受け金具を使用し、もう一方には妻側用フレーム (斜材) 受け金具を使用します。

建柱を自在クランプで緊結している部分 (抱き合わせ) でフレーム受け金具 (ALA7TA)、斜材受け金具 (ALA8TA) を使用すると金具が干渉して取付けられなくなるので下図の様に妻側フレーム受け金具、斜材受け金具を片方は上下逆さにして下さい。



直結部 組立手順

① 原則として、アサガオのフレーム受け金具、斜材受け金具は、建柱の横架材の所へ取付けて下さい。しかし、電線等をかわしてアサガオを取付ける時、建柱の脚柱にフレーム受け金具、斜材受け金具のハンガー部をかけるずにクランプのみで取付けることができます。その場合、落下防止の為、両金具のハンガー部の直下にクランプを取付けて下さい。また、フレーム受け金具と斜材受け金具との間はインチサイズ=1.725m、メートルサイズ=1.700mとして下さい。コーナー部も同様にして下さい。



② 単管 (48.6φ) 足場にも取付け可能です。その場合も、①と同様に位置決めクランプを必ず取り付けて下さい。また、スパンサイズはインチサイズもしくはメートルサイズのスパンの長さと同じになる様にして下さい。一つの現場内で枠組足場と単管足場があり、その両方にアサガオを取付ける場合、枠組足場のサイズ (インチ又はメートル) に合わせて下さい。